

課題挑戦型インターンシップ

写真を読む

東北公益文科大学 チームM

石川史華
増子万紀
金田珠輝
竹田雪乃

課題提供機関



課題提供機関

インテリア

福祉住環境

家具・文具

書の庵
—しよのいおり—



課題

コロナ禍で芸術分野が衰退

その理由は、

衣食住

>

芸術



課題

庄内の芸術文化
の普及

店舗を維持する収入

この二つをクリアする

いおり

書の庵を訪問

書道用具や表現用具の
専門店



画材屋さんのイメージ...

入りづらいかも。

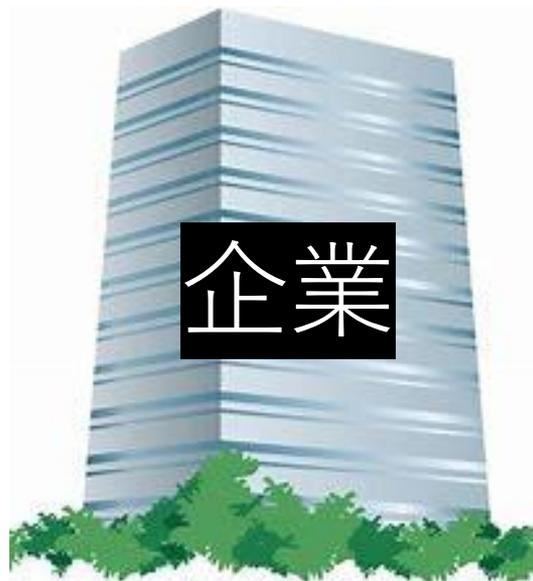
画材屋
・
・
・





ほしくなるような商品
がいっぱいあった



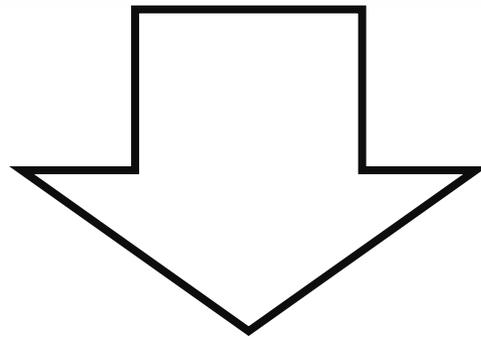




コロナで客足が減少



地元のことを知る
いい機会



企画力も重要

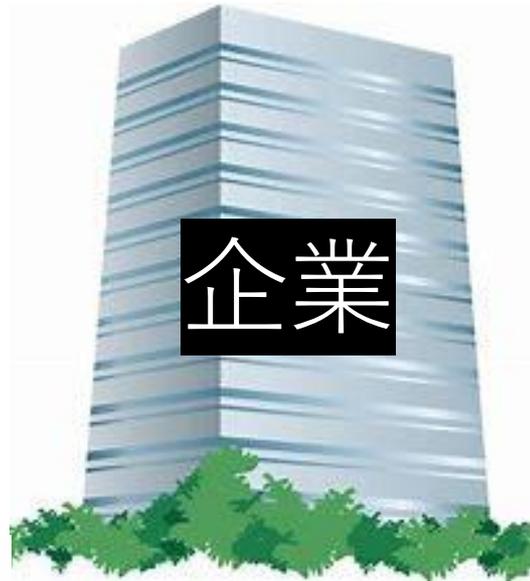
パッケージされた
企画

+

その美術館独自の
企画

A pair of ornate brass scales of justice, featuring a decorative top and two pans. The scales are positioned behind a teal rectangular box containing the title text.

世間のニーズ とのギャップ



企業



作り手



美術館

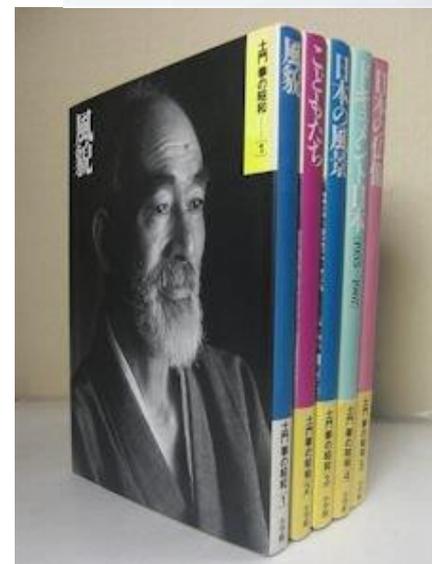
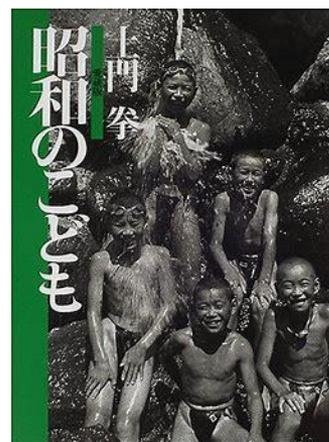
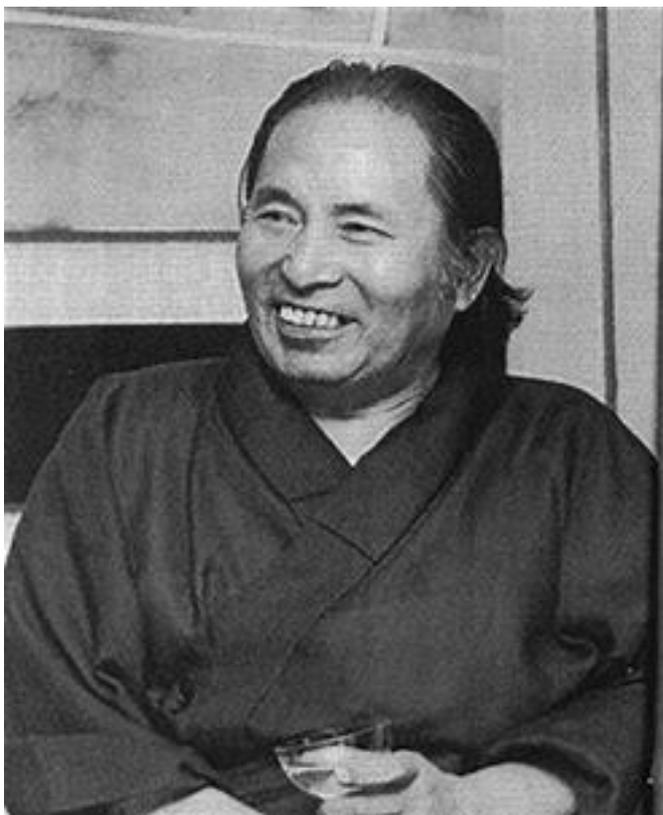
利益の循環が重要

酒田を代表する美術館

土門拳記念館



酒田の写真家土門拳の作品を展示



大学から近い

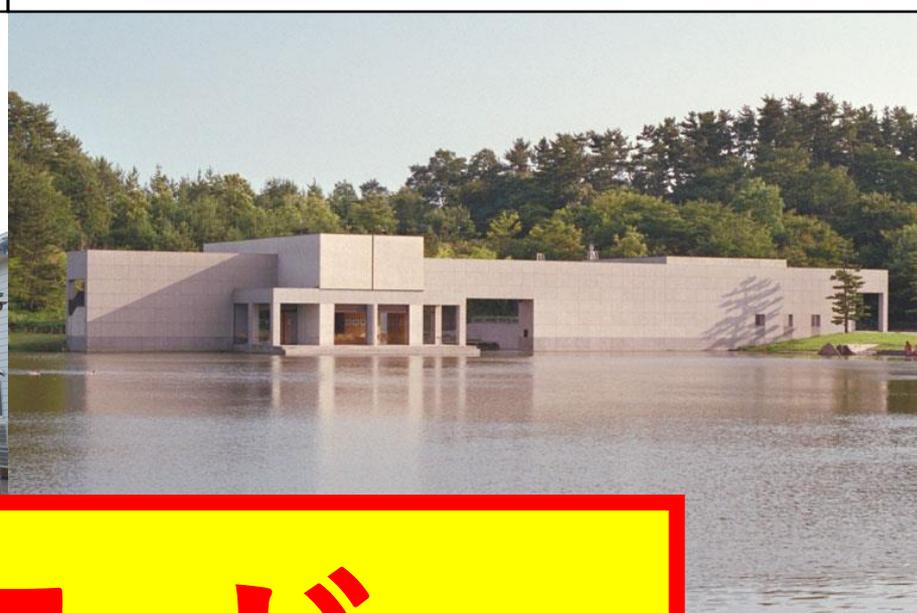


学生に美術館に
来てほしい。

考えた企画

株式会社ブルー

土門拳記念館



コラボ

ターゲットは
学生

企画1

朗読劇をする

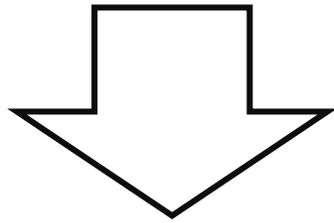
土門拳についての朗読、庄内の詩人・作家の作品を朗読する。
私たちになりに作成して、上演する。

企画 2

ワークショップ

聞き手から作り手へ
書の庵から筆や紙を提供していただき、朗読劇から感じたことを自由に作品にしてもらおう。

ブルーさんの商品を出張販売する



- 私たちでも使える画材を知ってもらえる。
- ブルーさんの商品宣伝になる。

広報手段

- ポスターを作成
- ツイッター
- ホームページ

企画のねらい

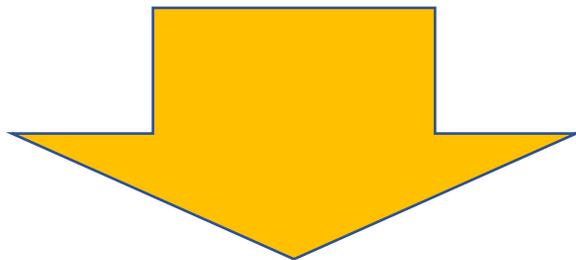
- ・土門拳や庄内のアーティストをもっと知ってもらう。
- ・土門拳記念館に来たことがない人が来館するきっかけを作る。
- ・株式会社ブルーの商品宣伝、売り上げにつなげる。

土門拳記念館に連絡してお話しした
ところ・・・



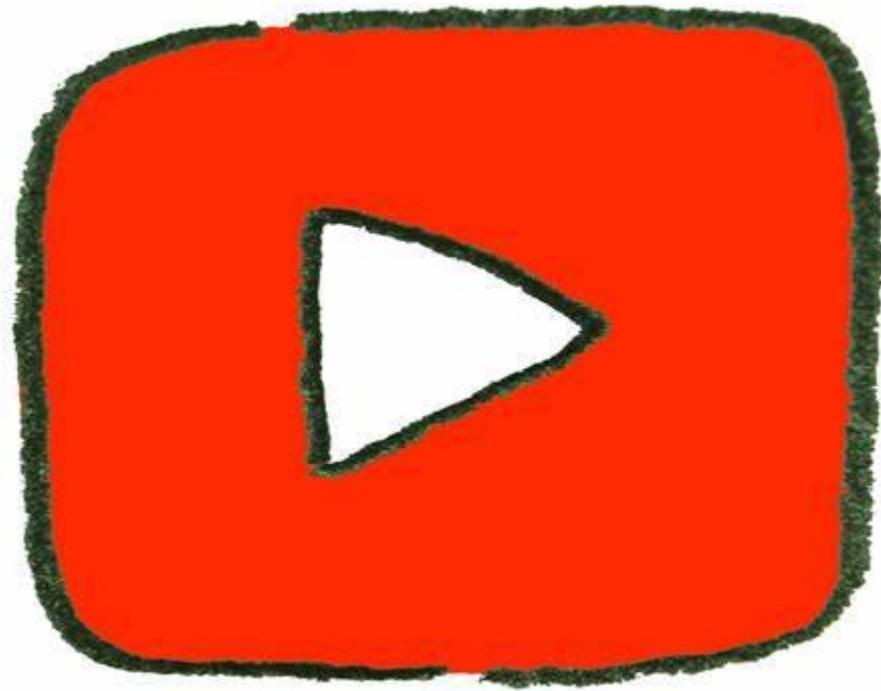
前向きに検討するとのこと！

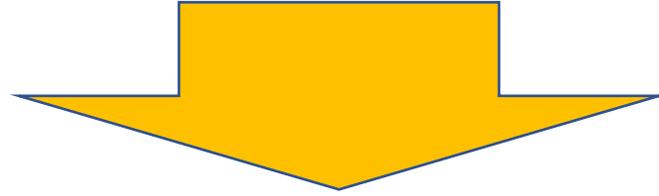
作った作品を
書の庵に展示
する



・企画に参加してくださった方は、
書の庵に足を運んでくれる。

動画を配信する





- ・多くの人にこの企画を知ってもらえる。

作成したポスター



庄内出身の写真家土門拳と庄内にゆかりのある詩人の茨木のり子の作品を朗読 出演 金田珠暉 竹田雪乃

朗読劇から感じたことを筆やペン、紙、折り紙などを使い表現

皆さんの作品は、後日「書の庵」のギャラリーに展示させていただきます。

庄内の学生の皆さん。この春休み、地元で緑のある芸術に触れてみませんか？是非、お気軽にご参加ください。

<日程>	<場所>	<料金>	<予約方法>
3/22 (月)	土門拳記念館	体験料 500 円	wanjizengzi@gmail.com
13:00 開場		体験料 500 円のほか入館	のメールアドレスまで、
14:00 開演		料が必要になります。	名前、電話番号を記載の
16:00 終了		入館料 大人 400 円	上ご連絡ください。
<主催>		高校生 200 円	定員 30 名、予約が埋ま
東北公益文科大学インターンシップチーム M		中学生以下無料	り次第終了いたします。
<共催>			
公益財団法人土門拳記念館			

注意事項

- 感染症対策のため、マスクの着用をお願いいたします。
- 入館時に検温と手の消毒にご協力をお願いいたします。
- 当日、土門拳記念館は休館日ですが、参加者のみ入館の上、展示作品をご覧になれます。



小学校や中学校はもう春休み

ポスターを張りに行けなかった。

イベント当日、登校日の高校が多かった。

参加したいけど、、
学校がある。 Oh..



メールで大学からも
宣伝してもらった



そして当日3月22日







- 久しぶりに図工のようなことができて楽しかった。
- ブルーさんの商品に興味を示していただいた。
- 朗読劇も好評だった。

反省点

- ・ 日程の設定

当日、登校日の学校が多く高校生、中学生が参加できなかった。

- ・ 広告

余裕のある準備が必要

今後の課題

- 何度も足を運んでもらうには、常に新しい企画が必要
- 若い人たちにもっと芸術に触れてほしい

参考文献

- ・ 株式会社ブルー

<http://blue-iori.com/>

- ・ 土門拳記念館

<http://www.domonken-kinenkan.jp/>